

青南幼稚園だより

12月号

平成26年 11月28日 園長 西澤 尚子

もう、12月。

早いもので、もう年末がすぐそこまで来ています。寒さを感じる日も多くなり、登園時にはコートを着てくる子どももいますが、日昼は鬼ごっこで走って汗ばむほどであったり、砂場ではまだ水を使って楽しんだりする様子が見られます。

青南幼稚園は、11月に開園記念日があり、今年、47周年を迎えました。子どもたちにとってみると47年というのはとても長い年月だと思います。子どもたちの誕生日と同様に、毎年、幼稚園の誕生日を祝い、多くの修了生、地域の方が青南幼稚園を大事に思ってきたから長く続いていること、一年一年と重なっていくことの喜びを伝えました。子どもたちが「自分の成長も身近な人、みんなの喜びである」と感じてほしいと願っています。

作品展には、多くの保護者の方、地域の方にいらしていただきました。近隣の保育園児、小学生も来てくれました。5歳児にとっては、「見に来て、参加してくれる人がある」ことを楽しみに作った「わくわく宇宙パーティー・ステーションパークランド」で、園内の3・4歳児や保育園児が嬉しそうに遊んでいる様子が、何よりの達成感を味わう機会になったと思います。

作品展では、どの学年も4月からの成長や今の生活が見ていただけるように、これまで作ったり描いたりしたものを展示しました。その場で遊んでいる様子が思い浮かぶように製作過程をお伝えする表示を付けたり、遊ぶ様子を実際に見ていただいたりしました。お子さん一人一人の成長とともに、学年による発達の様子もご覧いただけたものと思います。今年のこの取り組みが、子どもたちの次への具体的なイメージ、そして来年の作品展につながります。こうして子どもたちの中で脈々と、青南幼稚園らしさが繋がっていきます。

まだ少し早いですが、日本ではお正月を迎えると1つ年をとる、という考えもあります。もう12月、もう小学生、とあっという間に大きくなっていくお子さんと、年末年始は時間を惜しんで関わってください。カルタやすごろくと一緒に遊んだり、コマ回して大人の腕前を披露したり、文字通り肌触れ合っただけの楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。

作品展



3歳児・おうちごっこを展示



4歳児・室内の森のハウス

5歳児・保育園との交流



レストラン



輪投げ屋さん

- 12月指導のねらい
- 3歳児 ○自分の思いを先生や友達に表しながら遊びを楽しむ。
○園のいろいろな行事に参加して、様々な人とふれ合ったり皆と行動したりすることを楽しむ。
○自分の身の回りのことに気付いて進んでしようとする。
 - 4歳児 ○自分のイメージや考えを表現し、友達との関わりを楽しみながら遊びを進めていく。
○冬の訪れを感じ、冬の生活に必要なことを自分から気付いてしようとする。
 - 5歳児 ○共通の目的に向かって、友達と工夫したり協力したりして遊びを進めていく。
○冬の自然や年末年始の行事などに興味をもち、遊びや生活に取り入れていく。